

近況報告 2020年5月

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当院の現状と施策について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、これらの患者様に対応している医療施設における関係者の疲弊や感染防護具の不足等が大きな社会問題となっております。当院におきましてもマスクや消毒薬の不足や、先日お知らせいたしましたとおり特別外来の一部停止（別紙）・涙道手術の停止（別紙）等の影響はございますが、感染に十分な注意を行いつつ、基本的には通常の診療を続けております。

当院における感染防御対策といたしましては

- ① 職員の感染流行地域への移動禁止
- ② 職員の就業前体温測定、発熱・体調不良時就業停止の徹底
- ③ マスクの常時着用とアルコールによる手指消毒、頻回手洗い等、スタンダード・プリコーションの徹底、必要に応じゴーグルの着用
- ④ 定期的な換気
- ⑤ 来院患者全員の体温測定、体調不良等の問診の徹底（特に、結膜炎症例）
- ⑥ 受付におけるビニールカーテンの導入
- ⑦ 入院患者の面会制限、付き添い制限

等を厳格に行っております。

最も避けなければならないことが、病院機能を停止させてしまう院内クラスターの発生と考えます。茨城県央地域の眼科診療の維持のために、職員一同が医療従事者としての責任を厳しく自覚したうえで感染防御に努めて参ります。

小沢眼科内科病院 院長 小沢忠彦
副院長 木原真一